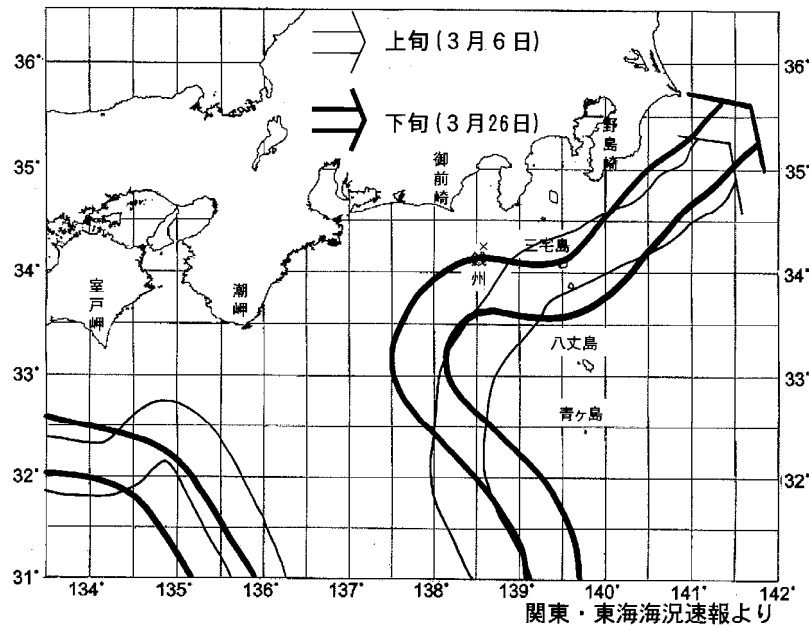


漁海況月報

平成 31 年 3 月 1 日

No. 3 ~3 月 31 日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



3 月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.0	16.0	15.9	17.0	15.5	14.6
	1.4	1.9	2.2	2.6	1.3	1.2
中旬	15.0	15.8	15.1	16.5	15.5	15.6
	1.2	1.5	1.1	1.8	0.7	1.7
下旬	16.0	16.2	15.6	17.5	16.0	16.3
	1.9	1.7	1.3	2.3	0.7	2.0
月	15.3	16.0	15.5	17.0	15.7	15.5
	1.5	1.7	1.5	2.2	0.9	1.6

*地頭方の水温観測は終了しました。

[黒潮流路]

3 月を通じて A 型で、上旬は潮岬沖 31.5°N から南南東に進み、30.5°N、138°E 付近まで南下した後、伊豆諸島の西 138-139°E の間を北上し、三宅島付近から北東に流去した。中旬は潮岬沖 31.5°N から南東に進み、30°N、138°E 付近まで南下した後、138-139°E の間を北上し、銭洲付近で東に向かい三宅島付近から北東に流去した。下旬は潮岬沖 30.5°N から南東に進み、30°N、137°E 付近まで南下した後、137.5-139.5°E の間を S 字状に北上し、銭洲付近で東に向かい、三宅島の南から北東

に流去した。

上旬後半には、黒潮北上部から大島西水道へ向けて暖水波及があった。また、中旬後半以降、三宅島西の黒潮屈曲部から、遠州灘～熊野灘に向かう内側反流が形成された。

[県下沿岸域]

3 月上旬は、伊東、沼津、焼津「やや高め」、稲取、下田「高め」、雲見「かなり高め」であった。中旬は、伊東、下田、沼津「やや高め」、稲取、雲見、焼津「高め」であった。下旬は、下田、沼津「やや高め」、伊東、稲取、雲見、焼津「高め」であった。

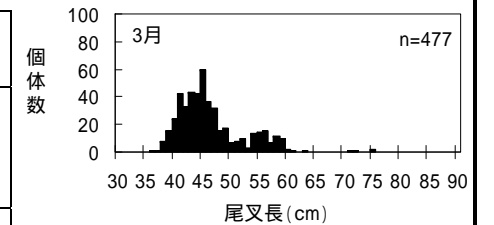
[竿釣カツオ]

3 月の県内主要 5 港 (沼津、清水、焼津、小川、御前崎) における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は 90 トンで前年同月(26 トン)の 3.5 倍であった。魚価は 300 円/kg で前年同月(347 円/kg)を下回った。

漁場は 24-31°N、143-148°E の中南方海域や伊豆諸島周辺海域であり、水揚げされた魚体サイズは、小(尾叉長 45cm モード)を主体に、極小(尾叉長 41cm モード)、中(尾叉長 56cm モード)、大(尾叉長 58cm モード)、などであった。

竿釣り (近海 + 沿岸船) カツオ水揚量 (県内主要 5 港)

期 間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
31 年 3 月上旬	21	2	10.3	249
中旬	50	8	6.2	245
下旬	19	15	1.3	494
31 年 3 月計	90	25	3.6	300
30 年 3 月計	26	6	4.3	347
29 年 3 月計	66	4	16.6	288



御前崎港における尾叉長組成

[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網 7 か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 229.4 トンで前年の同漁場の水揚量(335.5 トン)の 68%であった。また、1 か統あたりの水揚量は、32.8 トンで前年(47.9 トン)の 68%、平年(昭和 57 年～平成 30 年の平均 54.2 トン)の 60%であった。水揚量の多い漁場は、北川漁場(63.5 トン、ブリ・スルメイカ・さば類)、次いで谷津漁場(53.0 トン、ブリ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、ブリは 125.2 トンで前年比 70%、平年比 2.5 倍、銘柄ぶり主体であった。漁獲されたブリのうち、銘柄ぶりは 123.6 トンで前年比 1.0 倍、平年比 2.9 倍であったが、銘柄わらさは 1.4 トンで前年比 3%、平年比 21%と低調であった。さば類は 39.4 トンで前年比 1.0 倍、平年比 1.1 倍、マサバ主体であった。さば類のうち、マサバは 28.4 トンで前年比 90%、平年比 3.0 倍、ゴマサバは 11.0 トンで前年比 1.5 倍、平年比 38%であった。スルメイカは 33.5 トンで前年比 2.1 倍、平年比 1.5 倍であった。カタクチイワシは 9.5 トンで前年比 21%、平年比 11%であった。イシダイは 4.3 トンで前年比 1.1 倍、平年比 1.3 倍であった。その他の魚種については、アカカマスが 1.9 トンで前年比 69.0 倍、平年比 7.9 倍と前年、平年を大きく上回り、3 月の漁獲量としては昭和 58 年以降、最も漁獲量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)の通りで、各漁場の漁獲量の割合は、ブリでは谷津漁場が 41% (51.6 トン)、北川漁場が 33% (41.2 トン)、富戸漁場が 23% (28.7 トン)、さば類では伊豆山漁場が 49% (19.1 トン)、北川漁場が 15% (6.0 トン)、スルメイカでは北川漁場が 31% (10.4 トン)、富戸漁場が 29% (9.8 トン)、カタクチイワシでは古網漁場が 68% (6.5 トン)、北川漁場が 26% (2.4 トン)、イシダイで

は赤沢漁場が68% (2.9トン) 北川漁場が16% (0.7トン) を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	125.2	0.70	2.47	谷津、北川、富戸
さば類	39.4	1.02	1.14	伊豆山、北川
スルメイカ	33.5	2.13	1.54	北川、富戸、川奈
カタクチイワシ	9.5	0.21	0.11	古網、北川
イシダイ	4.3	1.09	1.31	赤沢、北川

[サバたもすくい]

小川港所属の棒受網漁船は全船がたもすくいで操業し、漁場は月を通じて銭洲に形成された。水揚量はマサバ706トン(前年同月比1.1倍) ゴマサバ208トン(前年同月比2.4倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ23.5トン(前年同月18.2トン) ゴマサバ6.9トン(前年同月2.4トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ110円で前年同月(106円)を上回り、前月(121円)を下回った。ゴマサバは117円で前年同月(110円)を上回り、前月(115円)とほぼ同額であった。

漁獲されたマサバ、ゴマサバの体長組成はともに尾叉長32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
31年3月上旬	155	148	4	13	11.9	11.4	102	113	銭洲
中 旬	201	24	2	8	25.2	3.0	121	157	銭洲
下 旬	350	37	3	9	38.9	4.1	107	109	銭洲
31年 3月計	706	208	9	30	23.5	6.9	110	117	銭洲
30年 3月計	656	86	12	36	18.2	2.4	106	110	銭洲、三本
29年 3月計	352	145	13	40	8.8	3.6	158	117	銭洲、三本、三宅近海

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

平成31年の春漁は3月26日が初漁日であった。3月の出漁日数は2日、水揚量は10トンであった(前年3月は出漁なし)。漁場は用宗沖~焼津沖及び相良沖に形成された。なお、今漁期は沼津沖~興津沖を自主規制により禁漁区としているため、この海域の操業は無い。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量(トン)	日数	漁 場
平成31年3月上旬	-	-	-
3月中旬	-	-	-
3月下旬	10.3	2	用宗沖~焼津沖, 相良沖
平成31年3月計	10.3	2	-
平成30年3月計	-	-	-
平成29年3月計	12.6	1	焼津・大井川沖
平成28年3月計	-	-	-

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が466kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が755kgであった。平均水揚量は617kgと前年同月(599kg)の1.0倍、前年同月(過去5か年平均:321kg)の1.9倍であった。また、総水揚量は304.1トンで前年同月(490.4トン)の62%、前年同月(212.8トン)の1.4倍と、前年同月を下回り、前年同月を上回った。平均単価は465円/kgで、前年同月(952円/kg)の49%、前年同月(802円/kg)の58%と、前年同月、前年同月ともに下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	31.8	3	37	860	371
舞 阪	100.4	3	113	888	405
福 田	41.9	3	75	558	465
御前崎	20.0	3	32	625	452
吉 田	65.3	6	114	573	484
静 岡	44.8	7	122	367	642
平成31年3月計	304.1	25	493	617	465
平成30年3月計	490.4	39	819	599	952
平成29年3月計	88.7	26	466	190	951

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、伊東港では313.2トン(前年同月比7.6倍、前年同月比8.5倍) 静浦港では0.075トン(前年同月水揚なし、前年同月比62%) 沼津港では825.1トン(前年同月比1.3倍、前年同月比1.5倍) 小川港では628.6トン(前年同月比2.3倍、前年同月比2.5倍)であった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港において水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは1.5トン、カタクチイワシは9.5トンであった。

*平年:過去5か年(平成26~平成30年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

3月 8日	海上試運転	(1日間)
3月 11日	ドックから回航	(1日間)
3月 14日 ~ 3月 15日	地先定線観測調査	(2日間)
3月 18日	いわし類卵稚仔分布調査	(1日間)
3月 19日 ~ 3月 20日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。
<http://fish-exp.sizuoka.ac.jp/>の間にsが追加され、<https://fish-exp.sizuoka.ac.jp/>になります。
 パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
 携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>
 右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と
 関東・東海海況速報を見ることができます。

